

Q. (体系物理 P104 問題 224(2))

問題の図で、(1)は  $n_1$  と  $n_2$  の 2つの屈折率を使って、(2)における  $d_1$ 、 $d_2$  のような上下の距離の制限がありません。(2)は屈折率を3つ使っていて、その上 B より下の位置に  $P_1$  と  $P_2$  があり、屈折率の違う物質をまたいだ距離になってます。

それでも、問題文のように""(1)の結果を用いて"" 解いても問題ないのでしょうか？

A.

下図のように、(1)では、(2)の領域IとIIの境界部分だけを考えています。つまり(1)における  $O, P', d$  はそれぞれ(2)における  $B, P_1, d_2$  に対応しており、この部分については(1)の結果がそのまま利用できます。

